



しんじ新聞

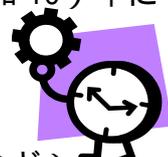
No. 82 2009年2月

品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ



歴史ながわ

【戸越公園】別名「旧細川家抱屋敷公園」。ルーツは、江戸時代初期の1662年、熊本藩主細川家が築いた下屋敷です。1671年庭園とともに整備されました。当時、ここは東海道の江戸市中と市外の境目に位置したため「江戸を越える」という意味から「戸越」と呼ばれていました。1890（明治23）年、三井家所有となった後、1932（昭和7）年に地元へ寄附されて、1935（昭和10）年に東京市立戸越公園として開園。その後、東京都に引き継がれ、1950（昭和25）年に品川区に移管され、現在に至ります。
（参考：『東京新聞 09/02/07』など）



除雪ボランティアに行ってきました！！

1月31日～2月1日新潟県十日町市枯木又（かれきまた）地区で除雪ボランティア活動に参加しました。除雪ボランティア『スコップ』は、新潟県庁雪対策室が県内市町村から除雪依頼を受けて登録しているボランティアに連絡し、除雪に参加するという仕組みです。除雪は、これまで市町村の「自助」で行なっていましたが、高齢化・過疎化で除雪作業に苦勞するようになりました。新潟県では、ボランティアメンバーの技術向上と受け入れ先市町村の体制作りを目的として実技講習会を昨年より実施しました。私は、まずこの講習を兼ねた除雪ボランティアに参加しました。参加者は、社会人など、地元新潟や神奈川・東京・静岡などから参加。スタッフは地元の方と



役所の方。リインテグレーションのあと、さっそく近くの小学校の除雪。「かんじき」（写真は私の足）を履くだけで一苦勞（笑）。スコップ・スノーダンプの使用

法も地元の方に指導して頂きました。あいにくの雨の中、予想以上の重労働。約3時間の除雪で汗だく。終了後、宿泊施設で県庁・市役所の方や地元



の方々（お元気な高齢者）とボランティアの皆さんで交流会を兼ねた夕食。地元の方から除雪の苦勞話などを伺いました。料理は、すべて地元の方が家庭料理をご自宅から運んで（！）下さいました。翌日は、雪（そして筋肉痛...）。本格的に集落の除雪（わずか10戸！典型的な高齢化・過疎化地区）。経験者は危険な屋根の雪下ろしを（写真上）

地元の方の「ボランティアの方と交流することによって地域が活性化する」「他県の方のお話で十日町の良さを再認識する」という感想が印象的でした。また、ボランティアに参加した方々の意識の高さ（「何か世の中の役に立ちたい」「自分にできることはないか」）など、多くのことを経験できたことも貴重な2日間でした。



高橋しんじ事務所

東京都品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
TEL: 03-5461-8757 FAX: 03-5461-8763
E-mail takahashi-shinji@spa.nifty.com
URL <http://www.takahashi-shinji.net/>
過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。

高橋しんじプロフィール

若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早稲田実業高、早稲田大学（政経学部政治学科 専攻は地方行政・同大学院博士課程で学ぶ。東京大学研究員、塾などを経て、教師（早稲田実業高、都立日比谷高・青山高・大森高）軟式野球ルーキーズ監督。平成19年4月 無所属・新人として2541票の支持をいただき初当選！

しがらみのない無所属





今週の書架

『日本のスポーツはあぶない』
 (佐保 豊 小学館 101 新書 735 円)
 「スポーツ」という考え方が子どもたちの命を救う、と謳っています。「いつ死んでもおかしくない」と刺激的な言い方でスポーツ現場に警鐘を鳴らしています。目次には「水を飲むな、は殺人指令」「(熱中症の発生しやすい)魔の学年、魔の時期、魔の時間帯」「その死は突然やってくる」「傷口にバンソウコウは貼るな!」などアスリートを取り巻く危険な環境を指摘しています。



無所属クラブ 区政報告

82 2009年2月

発行所 品川区議会無所属クラブ
 発行者 高橋慎司(副幹事長)
 〒140-8715 品川区広町2-1-36 6階
 Tel 03-5742-6864 Fax 03-3772-8878

区政へのご要望をお寄せ下さい!!

品川区平成 21 年度予算の概要②

81 から平成 21 年度の予算概要(歳出の一部)を項目別にお知らせしています。は新規事業です。は予算額です。

民生費

465 億円、歳出の 33.4%



- ・高齡者住宅等整備(都営大井町住宅跡地 東大井4丁目 2756㎡)-高齡者向け優良賃貸住宅(約40戸)住み替え住宅(約40戸)小規模多機能型居宅介護等。地下1階地上4階。 **要望が実現!**

東京都からの用地取得費16.1億円

- ・八潮南中跡特別養護老人ホーム等整備 - 特別養護老人ホーム(約80人)ショートステイ、認知症グループホーム等。 8億1000万円

- ・訪問介護員雇用と資格取得助成 - 介護事業所の雇用助成(1人100万円)ホームヘルパー2級取得助成(1人10万円) 5500万円

- ・西大井生き生きセンター運営費助成 - コミュニティセンター整備(月1回高齡者の会食) 166万円

- ・親子みつめあい事業 - 発達障害児の自立支援、親対象の支援。NPOに運営を委託。協働事業提案制度として初の実現事業。 361万円

- ・地域密着型ケアハウス開設(東大井5丁目、都南病院跡地) - 認知症高齡者グループホーム、併設保育園児と入居高齡者の交流事業等。 運営委託費448万円

- ・知的障害者の外出サポート - 自立支援法等の空白部分「余暇の時間」へ独自の支援サービス提供。NPOの業務経費を助成。 257万円

- ・シルバー人材センター支援事業 - 運営費助成・運営資金貸付 1億4749万円

- ・品川児童学園(知的障害児通園施設)運営費 - 定員28名 1億228万円

- ・子どもすこやか医療費助成 - 0歳~中3の自己負担分を区が助成 13億9132億円

- ・品川区すこやか児童手当 - 対象27755人 21億9852億円

- ・短時間就労対応保育園整備 - パート就労等の保護者向け。伊藤キッズ館・南大井保育園内にも設置 2341万円

- ・子育て支援スタッフ育成 - 地域スタッフ育成講座・だっこボランティア養成講座等開催 91万円

- ・保育園併設児童センターの整備(「キッズ館」) - 乳幼児親子に特化した地域子育て支援。南ゆたか・北品川に拡大 5790万円

衛生費

118 億円、歳出の 8.5%

- ・インフルエンザ b 型(Hib)ワクチン予防接種助成 - 2ヶ月以上5歳未満。 1024万円

- ・品川健康づくり宣言認証制度 - 健康づくりの取り組みを行なっている家族、店舗、団体等を区が認証 220万円

- ・乳がん検診 - 検診車実施分拡充。年1500人 区への要望が実現しました! 各種がん検診 4億3834万円

- ・妊婦健康診査(14回)・妊産婦歯科健診 2億4980万円

- ・不妊治療助成事業 - 対象拡充100組 280組 1451万円

- ・資源・古紙回収業務委託 7億949万円



朝、駅前にいます!

『区政報告』をお配りしています。議会等の事情で変更する場合があります。見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月 JR大井町駅前
 火 京急青物横丁駅前
 木 JR大森駅前
 金 京急立会川駅前
 各 7:00-9:30 頃